

# うちの朝市「こごが面白いぞ」

## その四 小田原まちなかプチ朝市



新鮮地場野菜が並び地産地消にこだわった朝市

「地産地消」をテーマに「小田原スタイル」の提案に「プチ朝市」という名前からもわかるように、出店数も十店程度で会場も書店の駐車場という小さな朝市です。しかし、「地産地消」をテーマに、こだわりのお店が出店し、ディスプレイや売り方も各店が工夫し、出店者との会話も楽しめる朝市です。

小田原・足柄地区の生産物・加工品を中心に、生産者の顔が見える対面販売での活気、秤売り・お客様との掛け合いなど、ワクワク感がある「小

### 「売上げ」ではなく「知名度」アップを

出店者はこの朝市で売上げをあげるかを考えて販売するのではなく、いかに地元の魅力的な商品をお客様に伝えるかを考えて販売しています。商品の登竜門というイメージでアピールし、ファン、リーダーを獲得し、知名度を上げ、来店や販売促進につながることを期待しています。

これも「小田原スタイル」ということにこだわり、この姿勢を貫き通したいと考えています。

### さらに飛躍を

今後出店者のオリジナルブランドの商品化やすらりと並べた軽トラックの荷台で商品を販売する「軽トラ市」などの開催などを計画しています。小さくてもお客様の満足感や話題性のある朝市として飛躍します。お楽しみに。

### かながわ朝市ネットワーク関連情報

※一般の方も参加できます。お問合せください。

#### 屋外イベントにおける保健所対応情報交換会

7月13日(水) 19:00~21:00  
かながわ県民センター 601号室  
(横浜駅西口徒歩5分 ヨドバシカメラ裏側)

各地の朝市など屋外イベントにおける飲食物の提供に関し、保健所への対応について情報交換会を実施します。葉山朝市、三崎朝市、津久井逸品市などからの報告があります。

#### 「災害時における商店街の役割を考える!」シンポジウム

7月29日(金) 18:30~21:00  
かながわ県民センター 403号室  
(横浜駅西口徒歩5分 ヨドバシカメラ裏側)

東日本大震災から100日以上経ちました。この間、神奈川県内の多くの商業者による被災地支援活動も行われています。今回のシンポジウムでは、これらの支援活動の報告と、災害時にける商店街の役割を考えるというテーマで実施します。

※どちらも参加費無料

<問合せ・申込み>

かながわ朝市ネットワーク事務局  
大場保男

☎090-5521-7427

E-mail oobayasuo@gmail.com



- 7月~9月の開催日時  
7月/10日・24日・31日  
8月/7日(軽トラ市)  
14日・28日  
9月/4日、11日、25日  
※いずれも日曜日  
7時半~9時半
- 開催場所  
小田原市緑一番街商店街内  
平井書店駐車場  
(小田原駅東口徒歩7分)

茅ヶ崎市商店街連合会で朝市を五月二十八日(土)、二十九日(日)に始めました。最初は被災地支援をテーマに茨城県の生産者も出店し、地元出店者も被災地の特産物を使っ



茨城県の生産者を招待しての出店

## 風評被害を吹き飛ばせ! 『チャリ太の絆朝市』

〜茅ヶ崎市商店街連合会でも朝市開始〜

たごわり品を販売しました。台風で一度は中止を決めましたが、お客様や準備した出店者のことも考えて、当初の開催時間をずらし開催し、賑わいました。

この連合会では、「自転車でお買い物」と提唱し、昨年「チャリ太」のキャラクターもでき、「チャリ太の絆朝市」と命名しました。今回の開催にはつながりを感じる美談もありました。夏にも連合会で開催し、その後は市内の商店街での朝市開催につながるべく予定です。